

ArcEPS

統合出力管理システム



図面や技術資料の「出図」や「配付」、
スムーズにできていますか？



製造業務の核となる図面や技術資料。

次工程や協力会社に情報を展開するうえで「出図」と「配付」は欠かせない業務です。

しかし、配付先ごとに出力形態が異なるうえ、大量の出図を仕分け配付する作業には、
多くの人手や時間がかかり、セキュリティ面でのリスクも懸念されます。

リードタイムの短縮やコストの削減を図るためにも

出図・配付をより効率化できる仕組みが求められているのです。

ArcEPS

スムーズな出図および効率的な電子配信を実現。 出図・配付業務にまつわる、さまざまな課題を改善します。

ArcEPSは、図面や技術資料など、さまざまなフォーマットが混在する文書を一元的に受け付け、部数、サイズ、各種の加工など、配付先ごとに設定を変えて一括出力・配信できる統合出力管理システムです。ArcSuiteをはじめ、さまざまなシステムと連携し、効率的な出図・配付を実現。リードタイムの短縮やコストの低減、セキュリティの強化に貢献します。

■主な特長

<p>複合機との親和性</p> <p>当社複合機特有の機能を有効活用</p>	<p>電子配信機能を強化</p> <p>Working Folder/ Working Folder Plusに対応</p>	<p>用途に応じた パッケージ選択が可能</p> <p>ライトパッケージ* 基本パッケージ エンジニアリングパッケージ *ライトパッケージはPJシートを利用します。 (ArcSuiteと自動連携ができません)</p>
---	---	---

■さまざまなシステムと連携し、多彩に配信

ArcEPSは、Web統合情報管理システム「ArcSuite」をはじめ、さまざまなシステムと連携。フォーマットが異なる文書にも柔軟に対応可能です。操作性に優れたユーザーインターフェイスのもと、ArcEPS上で各種の出図設定を施し、異なる配信先に一括して出力・配信できます。



■用途に応じて導入できる3パッケージ

ArcEPSでは、「ライトパッケージ」「基本パッケージ」「エンジニアリングパッケージ」の3つの商品構成を用意。ライトパッケージは、ArcSuiteの「Startモデル」と同一サーバー上の設置ができ、より導入しやすいシステム構成が可能です。各構成は、用途の拡大に応じて機能を追加していくこともできます。

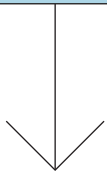
各パッケージの対応	基本/パッケージ エンジニアリングパッケージ	ライト/パッケージ
マトリックスクライアント	オプション対応。出力対象の文書格納先がArcSuiteかローカルかの選択が可能。	オプション対応。ただし、接続先はローカルのみ。
PJシート	オプション対応。	標準対応。
ArcSuiteからの出力	オプションなしでも、ドキュメントスペースから文書を選択し印刷ボタンを押すことで出力のみ可能。	マトリックスクライアントまたはPJシートを使い、ArcSuiteに登録された文書を一旦ローカルにダウンロードして出力することは可能。

「出図」や「配布」のお悩みは、ArcEPSが解決します。

手間がかかる…

配付先ごとに出力サイズや部数を変えるのは大変…

フォーマットが違う文書を別々に出力するのは面倒…



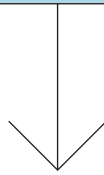
多様なファイルに対応し
配付先に合わせて一括出力

ArcEPSなら、異なるアプリケーションで作成されたファイルに対応できるうえ、配付先ごとに部数やサイズ、折り、スタンプの有無など、異なる出力指示を加えて一括出図することが可能。さらに新バージョンでは、複合機へのフォーム合成機能や画像回転機能が充実しました。出図・配付の手間を大幅に軽減します。

コストがかかる…

海外の事業所への配付は
お金も時間もかかる…

内容だけ参照したいのに
膨大な紙出力はムダ…



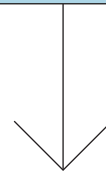
クラウド活用も可能になり
遠隔地とスムーズに情報共有

出力イメージのデータを電子でファイルサーバーなどに格納することにより離れた場所でもリアルタイムに情報を伝達・共有できます。さらに、新バージョンからは富士フイルムビジネスイノベーションのクラウドサービス「Working Folder」に配信することが可能に。遠隔地の事業所との情報共有を促進し、配付業務をいっそう効率化します。

情報漏えいが心配…

重要な図面や文書が
出力後も放置されたまま…

配信したデータを勝手に
印刷されることも心配…

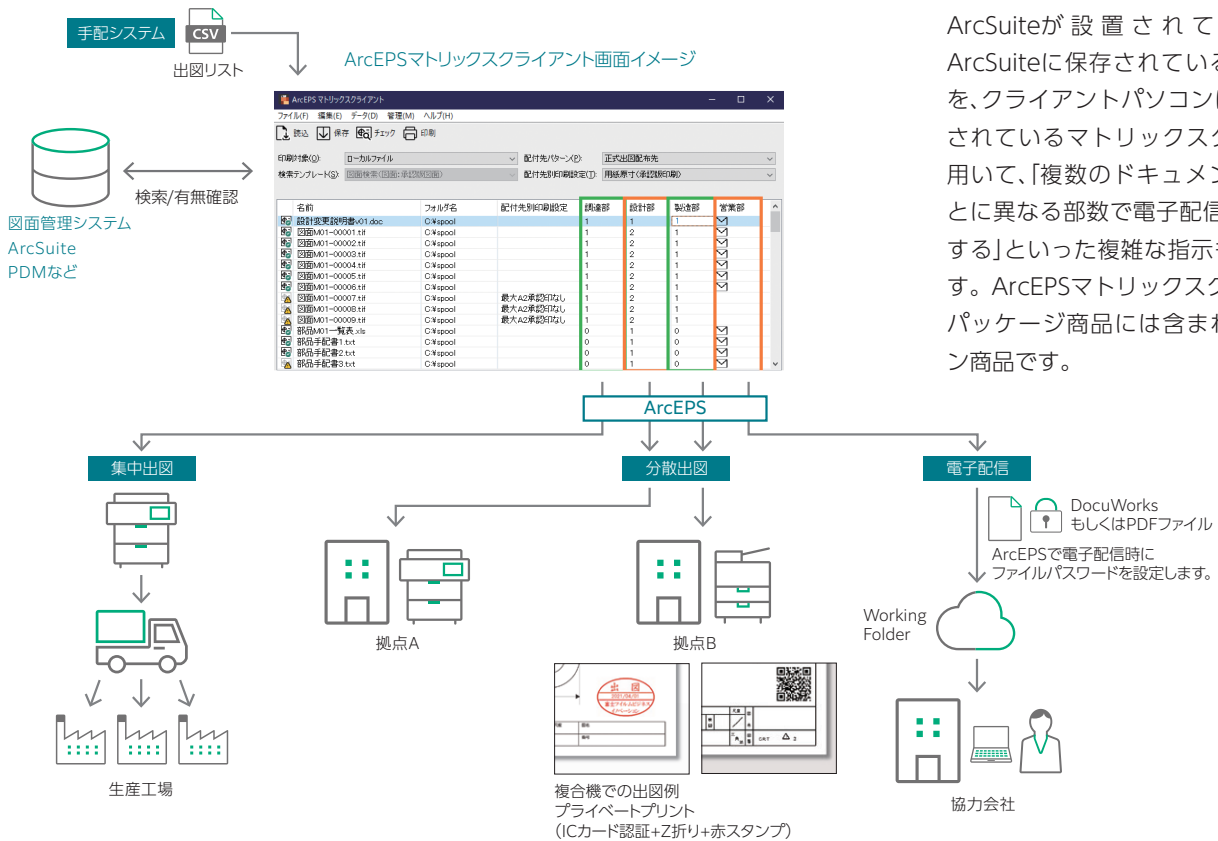


放置プリントを抑止する
プリント機能も搭載

機器の認証機能と連携することで、出力先に指定した機器では、機器の操作パネルでユーザー名とパスワードを入力するまでデータを蓄積しておくことが可能です。また、電子配信するPDFファイルそのものにパスワードの設定を可能にするなど電子配信時のセキュリティーも強化。情報漏えい抑止に貢献します。

ArcEPSマトリックスクライアントで手配を効率化

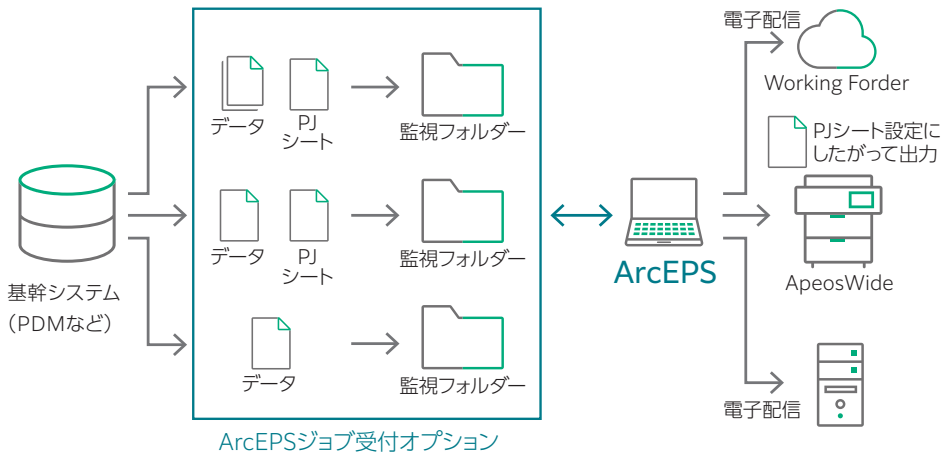
ArcSuiteや他の図面管理システムから、配布先ごとに設定を変えて一括出力・一括配信を効率化します。



ArcSuiteが設置されている環境で、ArcSuiteに保存されているドキュメントを、クライアントパソコンにインストールされているマトリックスクライアントを用いて、「複数のドキュメントを配布先ごとに異なる部数で電子配信・プリント出力する」といった複雑な指示も簡単にこなせます。ArcEPSマトリックスクライアントは、パッケージ商品には含まれないオプション商品です。

ArcEPSジョブ受付オプション*で基幹システムと連携

ジョブ受付オプションは、基幹システムとの連携を可能にするオプションです。



ジョブ受付オプションは、PJシート(印刷指示書)と印刷するドキュメントをArcEPSで読み込むことにより、指示されたドキュメントの印刷を行います。PJシートに、出図を指示するために、ファイル名・部数・スタンプ・紙折りといったさまざまな情報をパラメータとして記述することで、一括して処理することが可能になります。ジョブ受付オプションでは、特定のディレクトリを常に監視し、印刷処理を行います。

*ArcEPSライトパッケージには標準で同梱されています。他のパッケージ商品では、オプション商品です。

基本機能

ArcSuiteのドキュメントスペースに格納された図面や文書も、スムーズに出力&電子配信。
出図・配付業務を効率化し、リードタイム全体の短縮やコスト低減などにも大きく寄与します。

さまざまなシステムと連携

ArcSuite と連携して電子出図

ArcSuiteからの出力が可能です。登録されているドキュメントの一括出力やさまざまなデバイスの設定などが、Webブラウザ上から行えます。
※ライトパッケージはArcSuiteと連携できません。



高度な管理

Web ブラウザーによるプリント設定・管理

プリンターの詳細設定、ジョブ管理、リソース登録など、管理作業はWebブラウザ上から容易に行えます。



出力の自動処理を実現するシステム構築も可能

開発ツールキットArcEPS SDK*の活用で、ArcEPSを出力処理サービスとして利用するプログラムの開発が可能。さまざまなシステムとの連携により、出力作業の自動処理を実現するシステムを構築できます。

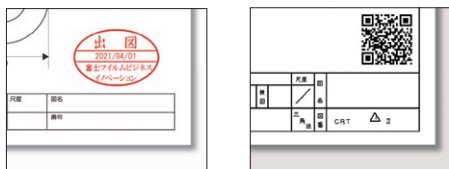
*オプション。

多彩なデータ加工・出図設定

スタンプ機能

ApeosWideが提供するスタンプ機能により、出図印などを押印することができます。また、ユーザー固有の文字列やQRコード*などをスタンプとして利用することもできます。

*QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

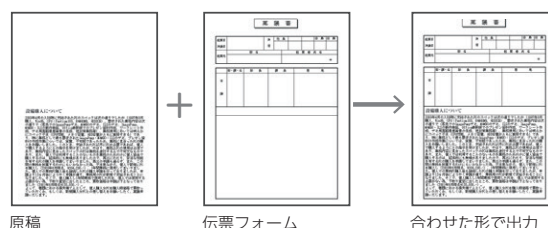


ハードウェアスタンプの使用例

QRコードの使用例

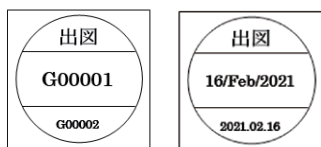
フォームオーバーレイ機能

見積書など、各種フォームに出力できます。



作成者や所属部門などをスタンプ

ドキュメントの作成者や所属部門など、ArcSuiteドキュメント管理サービス登録してある属性をコメントスタンプとして出力できます。



バナーシート機能

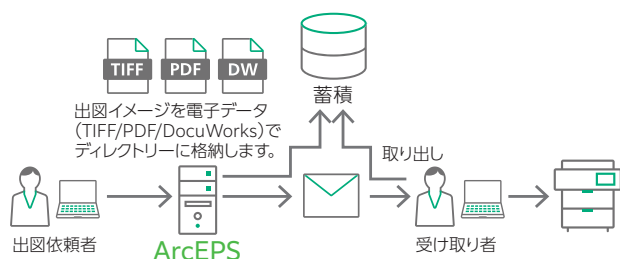
ジョブの印刷開始時や終了時などに、あらかじめ登録したバナーを出力できます。



出図・配付先も豊富に

出図データの電子配信

ArcEPSでスタンプ、フォームオーバーレイ、Nアップなどの加工を施した出図データの格納先をEメールで通知できます。また、配信データがDocuWorks文書の場合は、編集・アノテーション・印刷禁止など、セキュリティー機能の設定も行えます。PDF文書もパスワード設定が可能でセキュリティー機能が向上します。



複合機、プリンターとの連携

当社の複合機やプリンターに対応。カラープリントやフィニッシングなどの機能を、コントロールできます。さらに、新バージョンからはプロッターで指定可能だった「用紙サイズごとの排紙/回転方向の指定」を複合機やプリンターでも可能になりました*。

*用紙サイズと長尺の設定はできません。



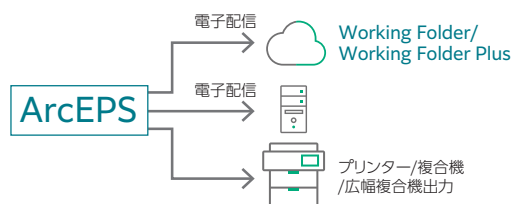
ApeosWide シリーズへの出力*

ApeosWideシリーズのプロッターに対応。「紙折り指示」「スタンプ機能」「2色カラー」などの機能を、コントロールできます。

*エンジニアリングパッケージは標準対応。ライトパッケージおよび基本パッケージはオプションです。

Working Folder/Working Folder Plus への登録

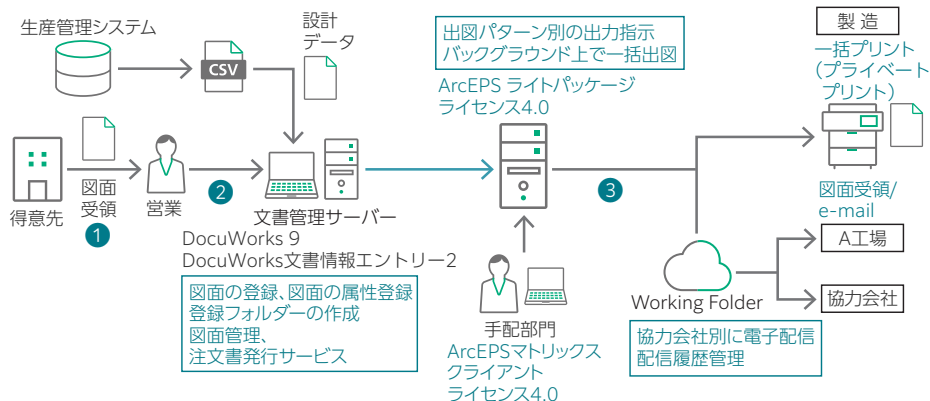
出図時、マトリックスクライアントからの配信指示の際、複合機への出力のみではなく、当社のクラウドサービス[Working Folder/Working Folder Plus]に配信することも可能になりました。Working Folderのドロワー、またはドロワー以下の特定フォルダーを「配信先」に指定できます。



事例 図面の管理・配送にかかる作業を効率化し、コスト削減を実現

製造業の図面管理ソリューション

①自社の営業担当がお得意先より図面を受け取る。②属性を付与して文書管理サーバーへ登録。③文書の手配部門からArcEPSサーバーを使って、社内の関連部署には一括プリントを指示し、自社の生産工場や外部の協力会社には、Working Folderを使っての図面配信が可能です。図面の管理・配信にかかる作業を効率化し、コスト削減を実現します。



ArcEPS 動作環境

ArcEPS 4.0 サーバー

(ArcSuite 4.0と同一のサーバーへインストールする際には仕様が変わります。ArcSuiteの動作環境でご確認ください。)

項目	内容
対応OS	Windows Server 2019 Standard (64ビット) 日本語版 Windows Server 2019 Datacenter (64ビット) 日本語版 Windows Server 2016 Standard (64ビット) 日本語版 Windows Server 2016 Datacenter (64ビット) 日本語版 Windows Server 2019 Standard (64ビット) 英語版*1 Windows Server 2019 Datacenter (64ビット) 英語版*1 Windows Server 2016 Standard (64ビット) 英語版*1 Windows Server 2016 Datacenter (64ビット) 英語版*1
CPU	インテル® Pentium® 4 プロセッサー 2 GHz以上
ハードディスク容量	40 GB以上の空き容量 ハードディスク ドライブの種類*2が512バイト ネイティブもしくは Advanced Format (512E)で、NTFSフォーマットに限る。
メモリー容量*3	2 GB (2 GB以上を推奨)
ネットワーク	インターフェイス:Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX
ディスプレイ	800×600ピクセル以上、フルカラー
必要なハードウェア	DVD-ROMドライブ
必要なソフトウェア	次のいずれかのDocuWorksが必要です。 DocuWorks 9.1 日本語環境*5*6 DocuWorks 9 日本語環境 (バージョン 9.0.1/9.0.5/9.0.6) *4*5*6 DocuWorks 8 日本語版 (バージョン 8.0.6以降) *5*6 Microsoft Office文書を印刷する場合は、次の該当アプリケーションが必要です。 Microsoft Office 365 ProPlus (32ビット) 日本語版 Microsoft Word 2019 (32ビット) 日本語版*7 Microsoft Excel 2019 (32ビット) 日本語版*7 Microsoft PowerPoint 2019 (32ビット) 日本語版*7 Microsoft Word 2016 (32ビット) 日本語版 Microsoft Excel 2016 (32ビット) 日本語版 Microsoft PowerPoint 2016 (32ビット) 日本語版 Microsoft Word 2013 (32ビット) 日本語版 Microsoft Excel 2013 (32ビット) 日本語版 Microsoft PowerPoint 2013 (32ビット) 日本語版

※ ArcEPSのサーバーは専用機とします。ドメインコントローラーが動作しているサーバーにはArcEPSをインストールできません。

※ 仮想化環境サポート対象は、当社のサーバー仮想化製品対応ポリシーに基づきます。

*1:日本語の言語パックが必要です。

*2:4 K ネイティブ (物理セクターおよび論理セクターが4096バイト) は未対応。

*3:メモリー容量は、1CPUあたりに必要とされるメモリー量です。複数CPUの場合は、各CPU毎に必要となります。OSによる制限もあります。

*4:バージョン 9.0.3 / 9.0.4を除く。

*5:[DocuWorks入れ物] (拡張子が[xct]のファイル) は、文書の変換や検索ができません。

*6:256ビットセキュリティー文書の印刷はできません。

*7:Microsoft Office 2019は、Windows Server 2019のみ対応しています。

ArcEPSの動作環境などの最新情報については当社の公式サイトをご覧ください。

[more info fujifilm.com/fb/product/software/arceps](https://www.fujifilm.com/fb/product/software/arceps)

FUJIFILM

富士フイルム ビジネス インベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

お問い合わせは

0120-27-4100

受付時間: 土、日、祝日および当社指定休業日を除く9時~12時、13時~17時。フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながりない場合があります。※お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

この商品に対するお問い合わせは、下記の営業担当へ…

●記載内容及び商品の仕様、外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。また、商品の色調は、フィルム、印刷インキの性質上、実際の色とは異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。●FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。●ArcSuite、ArcEPS、ApeosWide、DocuWorks、Working Folderは、富士フイルムビジネスインベーション株式会社の登録商標または商標です。●Microsoft、Windows、Windows Server、PowerPoint、Excelは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。●QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。●その他の社名または商品名等は、それぞれ各社の商標、または登録商標です。

この印刷物は環境に配慮した用紙を使用しています。この印刷物の内容は2023年3月現在のものです。 DGE-1438 2112-1